

情報通信審議会 情報通信技術分科会
衛星通信システム委員会作業班（第 19 回）会合 議事要旨

- 1 日時
令和 2 年 2 月 3 日（月）14 時 30 分～15 時 20 分
- 2 場所
総務省 8 階 第 1 特別会議室
- 3 出席者（敬称略、順不同）
 - (1) 構成員
藤井 威生（主任）、松井 房樹（主任代理）、市川 麻里、伊藤 信幸、大石 雅寿、大島 浩、小竹 信幸、菊池 弘明（代理：伊藤 達郎）、城戸 克也、正源 和義、上馬 弘敬、関口 和宏、富田 浩、菱倉 仁、福井 裕介、福本 史郎、牧山 隆宏、三浦 周（代理：土谷 牧夫）、村瀬 和也、森 正幸、森本 聡、横畑 和典（代理：土田 健一）
 - (2) 関係者
三菱総合研究所 大木 孝
 - (3) 総務省（事務局）
基幹・衛星移動通信課 片桐 課長、糸 調査官、加藤 課長補佐、郷藤 係長
- 4 議事概要
議事に先立ち、構成員の出席状況の報告、配付資料の確認等が行われた後、以下の議題について検討が行われた。
 - (1) 高度 1200km の極軌道を利用する衛星コンステレーションによる Ku 帯非静止衛星通信システムの技術的条件案の検討について
資料 19-1 に基づき事務局から説明が行われた後、以下の質疑があった。

正源構成員 : タイトル「Ku 帯非静止衛星通信システムの技術的条件」とあるが、Ka 帯のフィーダリングも含んでおり紛らわしい。「Ku 帯/Ka 帯」と表記するか、タイトルの定義を報告書の冒頭部分に記載してはどうか。

郷藤係長 : 調整の上、修正する。

正源構成員 : P. 3 に「占有周波数帯幅の許容値」とあるが、許容値とは誤差のイメージがあると思われる。ここでは占有周波数帯幅そのものを規定しないという意味で用いているが、許容値という言葉が適切かどうか。

また、「規定しない」と記載あるが、免許取得時には指定しなければならないので、参考資料 1 のように免許交付時に指定すると記載すべきでないか。

福本構成員 : 不明確な点は明確化していく。

大石構成員 : 周波数共用条件にて、ダウンリンクについて言及がなかったが、10.6-

10.7GHz の電波天文の保護については、どのように扱っていくのか。

福本構成員 : 欧州の共用検討結果に基づいて不要発射 EIRP の制限値が規定されている。この制限値を満たすためには再隣接のチャンネルを停波して運用しなければならない、グローバルに電波天文を保護すべきということは認識している。一方、ECC Decision では規定されていないが、遵守すると OneWeb から聞いているので、周波数共用の条件に不要発射に関する追記を行う。

大石構成員 : 後々、参照できるよう記載する方向でお願いしたい。

市川構成員 : 資料 19-3 について、P. 11 に地球探査衛星業務（受動）について記載があるが、根拠を明確にするため、最後に「(参考資料 3 を参照)」と記載いただきたい。

福本構成員 : 了。

(2) 衛星通信システム委員会報告（案）概要及び衛星通信システム委員会報告（案）について

資料 19-2、19-3 に基づいて事務局から説明が行われた後、以下の質疑があった。

正源構成員 : 資料 19-2 では P. 8、資料 19-3 では P. 10 に同じ図があり、図中に 17.3-17.8 GHz が BS のフィーダリング アップリンクと記載あるが、日本の周波数割当計画の脚注 J. 222 には、17.8-18.4 GHz も BS のフィーダリングと記載があるので、図に追加してほしい。

郷藤係長 : ご指摘を踏まえて追記する。

正源構成員 : 資料 19-3 の P. 22 に表 2-5 があるが、P. 9 の表 2-1 と内容が若干異なっているので合わせるべき。

郷藤係長 : ご指摘を踏まえて修正する。

正源構成員 : 報告書の構成について、前半は報告書で、後半の別添が答申となるのか。

郷藤係長 : 他の情報通信答申もこのような形式となっており、前半部分が委員会報告、後半の別添が答申である。

正源構成員 : 報告書には記載あるが、答申には記載ない項目についてはどういった扱いになるのか。

郷藤係長 : 他の委員会報告と同様に、答申の内容は別添の内容のみとなるが、この後に行われる制度整備では、委員会報告の内容も反映する。

大石構成員 : 10.6-10.7 GHz の電波天文と非静止衛星システムとの周波数共用条件の追記について、報告書（案）の P. 31 の 5.6 に追記していただくと、整合性がとれる。また、資料 19-2 の P. 14 の最後にも追記いただきたい。

郷藤係長 : 了。

(3) その他

資料 19-4 に基づいて事務局から説明が行われた後、以下の質疑があった。

市川構成員 : 次回委員会の開始時間をご教示いただきたい。

郷藤係長 : 13 時 30 分開始予定である。

【配 付 資 料】

- 資料 19-1 高度 1200km の極軌道を利用する衛星コンステレーションによる Ku 帯非
静止衛星通信システムの技術的条件案の検討
- 資料 19-2 衛星通信システム委員会報告 (案) 概要
高度 1200km の極軌道を利用する衛星コンステレーションによる Ku 帯非
静止衛星通信システムの技術的条件
- 資料 19-3 衛星通信システム委員会報告 (案)
高度 1200km の極軌道を利用する衛星コンステレーションによる Ku 帯非
静止衛星通信システムの技術的条件
- 資料 19-4 今後の調査検討スケジュール (案)
- 参考資料 1 Ku 帯非静止衛星システムの技術的条件の考え方
- 参考資料 2 衛星通信システム委員会 作業班 構成員名簿
- 参考資料 3 衛星通信システム委員会作業班 (第 18 回) 議事要旨